

東名高速道路 足柄スマートIC 開通後の利用実態と開通効果について



1.足柄スマートIC及び周辺ICの利用実態

- 足柄スマートICの交通量は、**計画交通量である約2,500台/日以上となる約2,600台/日が利用**
- 足柄スマートICと隣接IC全体の**1日平均利用台数が800台増加**
- 足柄スマートIC周辺の御殿場ICでは約1,600台/日、大井松田ICでは約200台/日減少し、利用ICの分散が図られている

足柄スマートIC利用交通量

計画交通量2,500台/日以上交通が利用

	実績(開通1年※1)	計画(2030年度)	実績-計画(増減率)
出入交通量(台/日)	2,600	2,500	100(4.0%)

※1 集計期間は、2019.4.1(月)～2020.3.31(火)

※交通量は百台単位で四捨五入

足柄スマートIC周辺の各IC利用交通量

出入交通量 (台/日)	御殿場IC	足柄スマートIC	大井松田IC	合計
整備前※1	24,600		16,300	40,900
整備後※2	23,000	2,600	16,100	41,700
整備後-整備前	-1,600	2,600	-200	800
交通量推計 計画(2030年度)増減	-1,700	2,500	200	1,000

※1 集計期間は、2018.4.1(日)～2019.2.28(木)

※2 集計期間は、2019.4.1(月)～2020.2.29(土)

供用開始日が、2019.3.9のため、11ヵ月の集計期間を設定した。

※交通量は百台単位で四捨五入

2.足柄スマートIC利用実態

- 休日は平日平均の約1.7倍利用され、観光目的による利用が多い特性
- 東京方面の利用が多く、下り線出口よりも上り線入口の交通量が多い。帰宅の際にスマートICの存在を知り利用する交通が多い

利用実態



◆ 上り線の様子

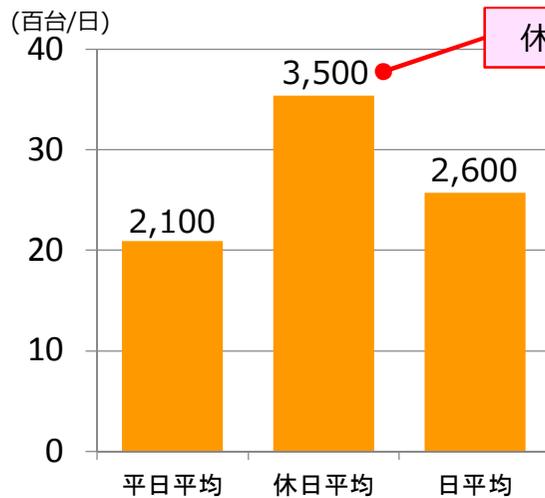


◆ 下り線の様子



利用交通量

1.足柄スマートIC 平休別平均利用交通量 (2019.4~2020.3の平均)



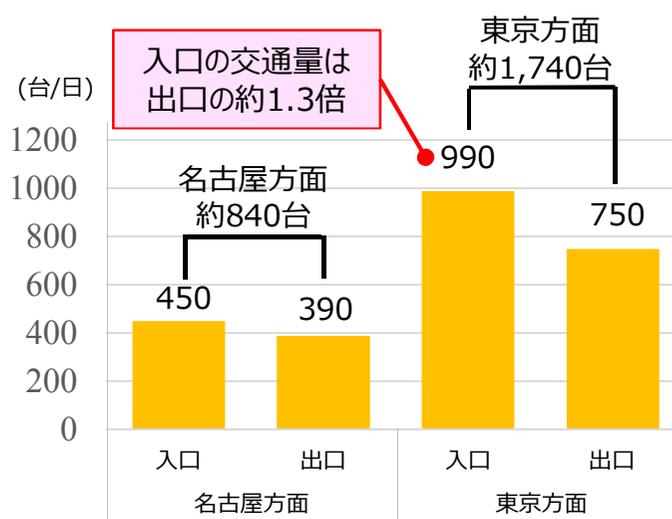
平日交通よりも
休日交通の利用が約1.7倍

↓

観光交通が多い特性

出典：NEXCO提供データ
2019.4.1(月)~2020.3.31(火)の366日間の平均
平日は土日祝を除く、休日は土日祝

2.足柄スマートIC 上下線別利用交通量



・東京方面の利用が多い
・上り線入口の交通量は下り線出口より約1.3倍多い

↓

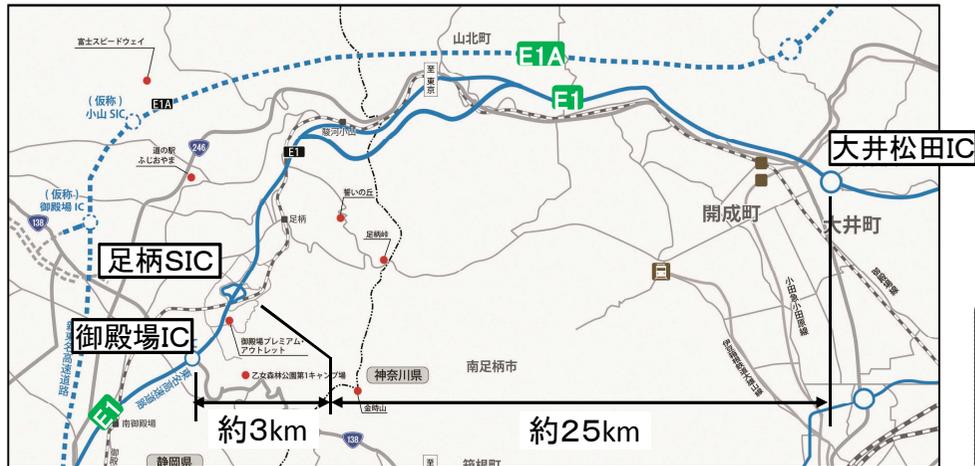
東京方面へ帰宅する車両が足柄SICを利用 (市街の案内看板設置効果)

出典：NEXCO提供データ
2019.4.1(月)~2020.3.31(火)の366日間の平均
平日は土日祝を除く、休日は土日祝

2.足柄スマートIC利用実態

- 足柄スマートIC開通後、御殿場IC及び大井松田ICの利用交通が足柄スマートICに転換し交通が分散
- 特に、休日の転換量が多く、御殿場ICで約3,300台、大井松田で約600台減少

ICの利用交通量



出典: NEXCO中日本提供資料

◆ 全日平均

【開通前】2018.4.1(日)~2019.2.28(木)の334日間の平均

【開通後】2019.4.1(月)~2020.2.29(土)の335日間の平均

◆ 平日平均

【開通前】2018.4.1(日)~2019.2.28(木)の334日間の平日平均

【開通後】2019.4.1(月)~2020.2.29(土)の335日間の平日平均

平日は土日祝日を除く

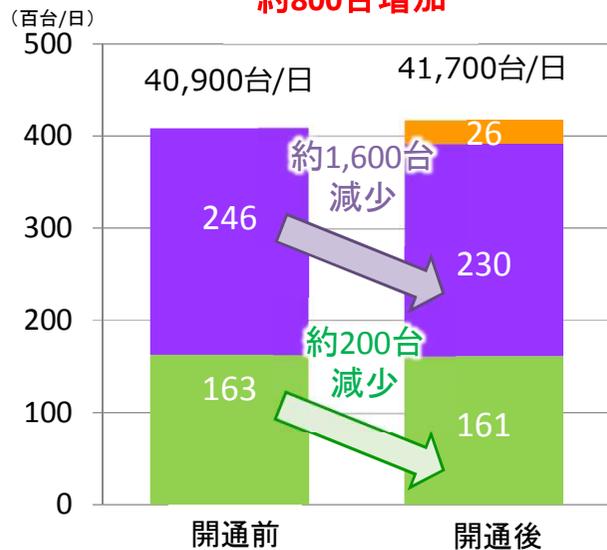
◆ 休日平均

【開通前】2018.4.1(日)~2019.2.28(木)の334日間の休日平均

【開通後】2019.4.1(月)~2020.2.29(土)の335日間の休日平均

休日は土日祝日

全日平均

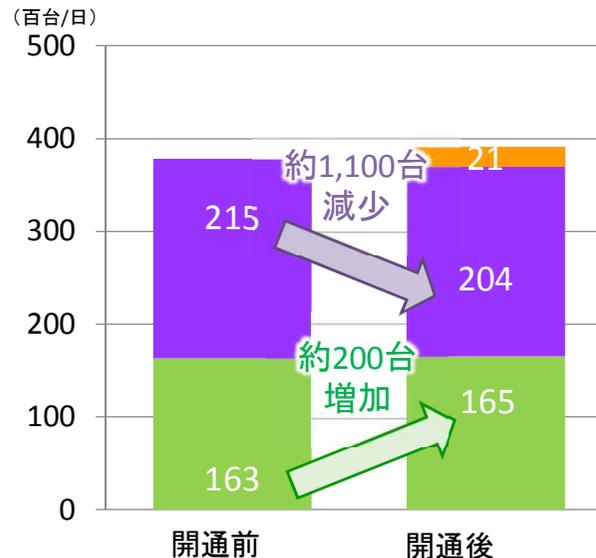


約800台増加

約1,600台減少

約200台減少

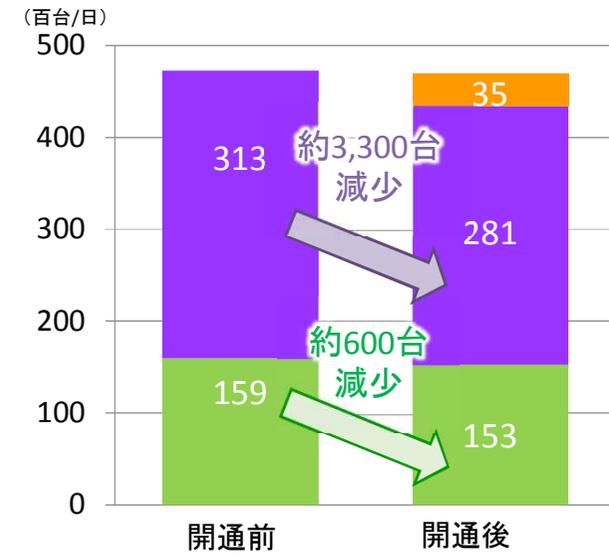
平日平均



約1,100台減少

約200台増加

休日平均



約3,300台減少

約600台減少

3.記者発表及び整備効果の検証

※第2回足柄SIC幹事会
(2017.11.10)にて提示済み

記者発表資料作成の基本的な考え方

- 2016年5月に「足柄スマートIC実施計画書」を公表し、以下に示す5つの観点から期待される効果を整理
- 実施計画書で示された各効果について、**できるだけわかり易く、かつ定量的に示すことができる指標を選定**した

足柄サービスエリアへのスマートICの設置により

→ 高速道路の利便性向上

○小山町・御殿場市街地へのアクセス性が向上し、御殿場ICの交通を分散

→ 観光振興

○周辺観光施設へのアクセス性が向上し、観光客の増加が期待

→ 物流の効率化

○周辺企業から東名高速へのアクセス時間が短縮し、製品の出荷など物流が効率化

→ 防災機能の強化

○東名足柄SAと新たに整備中の防災機能を備えた観光拠点施設との連携による防災機能の強化

→ 救急搬送の速達性

○救急医療施設への搬送時間短縮による救急・救命活動の支援

3.記者発表及び整備効果の検証

※第2回足柄SIC幹事会
(2017.11.10)にて提示済み

足柄スマートIC実施計画書で示された整備効果指標と今回選定した指標

- 選定は更新が可能な指標とし、記者発表は実測値等で効果を表現できる指標とした
- 今回は開通1年後の公表に向け、◎の指標を整理

■ 新たに追加する指標
□ 今回採用しない指標

●：データ検証(改善の分析) △：結果を確認し、記者発表に掲載しない指標 ◎：記者発表

整備効果メニュー	指標・内容	選定 (○) 非選定 (×)	具体的な指標	使用データ等	開通前	開通後
効果①：高速道路の利便性向上	【指標①】御殿場市街及び御殿場IC付近の混雑状況	○	・ETC2.0による市街の旅行速度	・ETC2.0による市街の旅行速度図化	●	●
		○	・国道138号目戸橋交差点などの渋滞緩和(交通量・渋滞長減)	・開通前後で交通量・渋滞調査を実施(1年後の同時期)	◎	△
	【指標②】御殿場ICの渋滞発生状況	○	・東名御殿場JCT～大井松田IC間の渋滞発生回数等	・NEXCO渋滞データ(H26～)	◎	◎
	【指標③】高速道路の利便性向上	○	・御殿場市役所、小山町から足柄SA通過までの所要時間変化	・ETC2.0による足柄SAまでの所要時間	●	◎
	【指標④】御殿場市街地の渋滞損失時間	×	・ETC2.0による市街地の旅行速度から渋滞損失時間を算定 渋滞損失時間という指標が一般の方々にとって分かりにくい指標であるため選定しない			
	【指標⑤】新規観光施設へのアクセス	×	・アクアイグニスの手掛ける複合リゾートへの所要時間 リゾート開業が2021年開業予定であり、現時点で存在しないため選定しない			
	【指標⑥】足柄SIC及び前後ICの利用交通量	○	・御殿場IC・足柄SIC・大井松田ICのIC利用交通量(※分散効果を確認)	・NEXCO IC出入り交通量データ	—	◎
効果②：観光振興	【指標①】高速ICアクセス時間が短縮される地域	×	・足柄SIC整備による時間短縮エリア 指標が定量的でなく、インパクトが低いことから選定しない			
		○	・周辺観光・娯楽施設の期待の声 ※開通後は期待の声に対する結果	・周辺ゴルフ場、ホテル、富士スピードウェイ、観光事業者(富士急・小田急・WILLER)へのヒアリング(※開通後も実施)	◎	◎
	【指標②】時間短縮効果	×	・ETC2.0による足柄峠までの時短効果は交通の集中も期待できずかつ指標のインパクトが低いため選定しない			
		○	・交通が集中するFUJI SPEEDWAYから大井松田ICへの所要時間短縮【帰り道】	・ETC2.0による所要時間算出	◎	◎
	【指標③】新規観光施設	×	・アクアイグニスの手掛ける複合リゾートは、足柄SIC開通後であるため選定しない			
効果③：物流の効率化	【指標①】企業の高速道路利用動向	○	・周辺企業の高速道路利用方面・利用ICの割合変動	・企業アンケートの再実施(H21調査では44社に実施)	◎	◎
	【指標②】時間圏域が拡大	×	・周辺からのSICアクセス時間短縮エリアは事前に整理できる指標でありインパクトが低いため選定しない			
	【指標③】周辺企業の声	○	・周辺企業の期待の声 ※開通後は期待の声に対する効果	・過年度アンケートした企業+新規進出企業を対象にアンケート形式で声を聴取	◎	◎
効果④：防災機能の強化	【指標①】広域防災拠点	×	・震度6弱以上の揺れに見舞われる確率分布図とSIC位置との関係図。整備効果として定量的に示すことが困難であるため選定しない			
	【指標②】災害進出拠点からの輸送効率の向上による防災機能の強化	○	・ETC2.0によるICから防災活動拠点までの移動時間短縮	・ETC2.0によるICからの移動時間を算出	●	●
	【指標③】新規観光拠点施設と足柄サービスエリアとの連携による防災機能の強化	×	・足柄SAと新規観光拠点との連携 足柄SICとの直接的な関係が無いため選定しない			
効果⑤：救急搬送の速達性	【指標①】搬送時間短縮効果	○	・足柄SA周辺の小山町足柄・北郷・小山地区から沼津市立病院までのアクセス時間短縮	・小山消防署の搬送実績による現況平均所要時間(ヒアリング) ・小山消防署の緊急搬送件数情報の更新	◎	◎
		○	・小山消防署の期待の声 ※開通後は期待の声に対する効果	・小山消防署ヒアリング結果	◎	◎
	【指標②】30分カバー圏域拡大	×	・医療30分カバー圏域は事前に整理できる指標であり、インパクトが低いため選定しない			

3.記者発表及び整備効果の検証

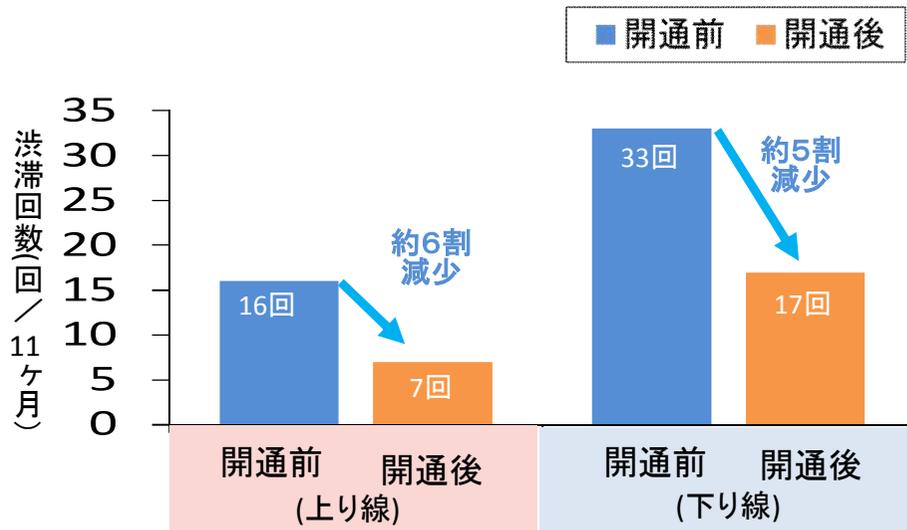
効果①：高速道路の利便性向上

指標②：足柄スマートIC開通により、利用ICの分散が図られ、**御殿場ICの渋滞発生回数が5割以上減少**

指標③：一般道の渋滞区間を回避して高速道路へアクセスが可能となり、
御殿場市から高速道路(東京方面)は約6分、小山町から高速道路(名古屋方面)が約11分短縮

<指標②結果：御殿場ICの渋滞発生状況[IC出口]>

◆御殿場IC出口の渋滞発生回数



開通前 2018.4.1(日)～2019.2.28(木)の334日間
 開通後 2019.4.1(月)～2020.2.29(土)の335日間

出典：NEXCO中日本提供資料

<指標③結果：高速道路の利便性向上>

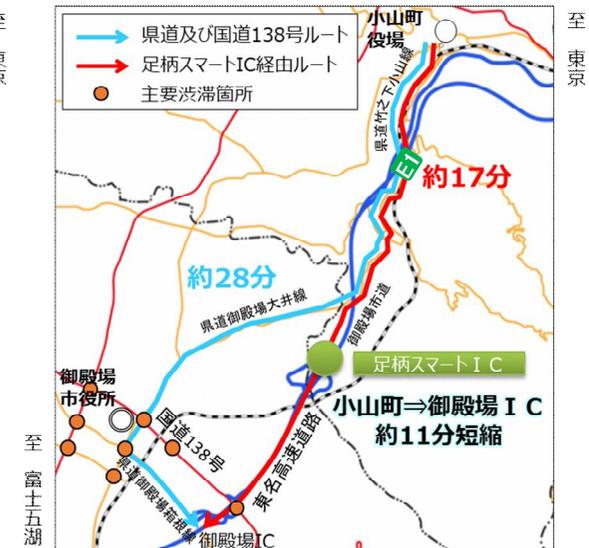
【御殿場市役所⇒高速道路(東京方面)】



<走行経路>

- 国道138号ルート
御殿場市役所⇒国道138号⇒御殿場IC⇒足柄スマートIC
- 県道御殿場大井線ルート
御殿場市役所⇒県道御殿場大井線⇒御殿場市道⇒足柄スマートIC

【小山町役場⇒高速道路(名古屋方面)】



<走行経路>

- 県道及び国道138号ルート
小山町役場⇒県道竹之下小山線⇒県道御殿場大井線⇒御殿場IC
- 足柄スマートIC経由ルート
小山町役場⇒県道竹之下小山線⇒県道御殿場大井線⇒御殿場市道⇒足柄スマートIC⇒御殿場IC

所要時間はETC2.0プローブデータより算出(2019.11 休日15時台)
 主要渋滞箇所：静岡県HP「地域の主要渋滞箇所」

3.記者発表及び整備効果の検証

効果②：観光振興

指標②：足柄スマートIC開通後、FUJI SPEEDWAYの入込客数が約10%増加
 FUJI SPEEDWAYから大井松田ICへの所要時間が最大約16分短縮

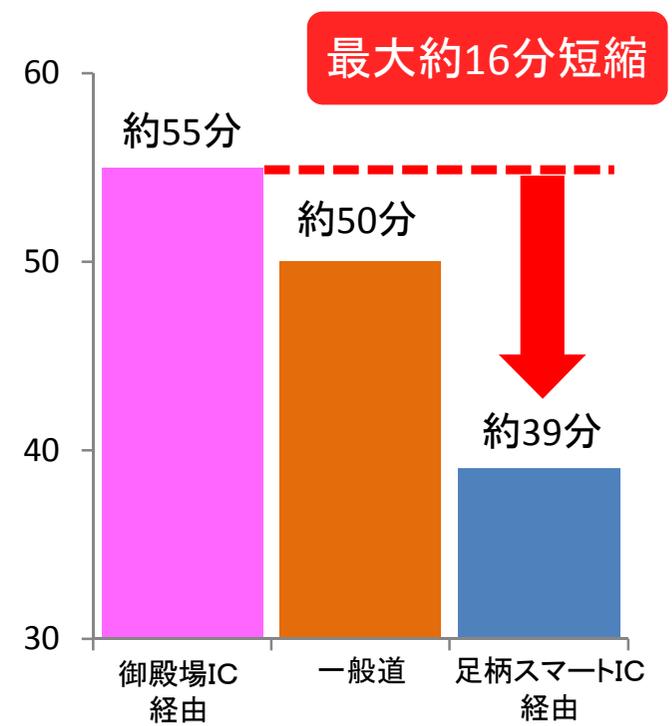
<指標②結果：FUJI SPEEDWAYから大井松田ICへの所要時間短縮【帰り道】>



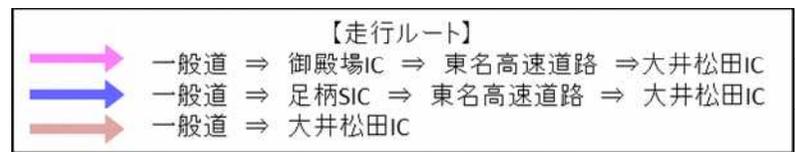
【主なイベント】
 5月：スーパーGT 8月：スーパーGT
 7月：スーパーフォーミュラ 10月：世界耐久選手権

開通後、FUJI SPEEDWAYの入込客数が
約10%増加

◆大井松田ICへの所要時間



※所要時間
 ETC2.0プローブデータ2019.5 休日ピーク時(17時台)平均



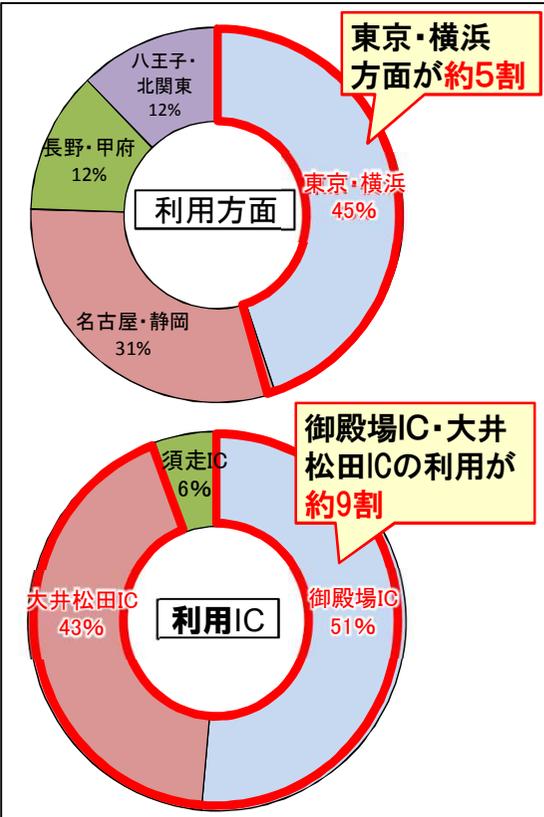
3.記者発表及び整備効果の検証

効果③：物流の効率化

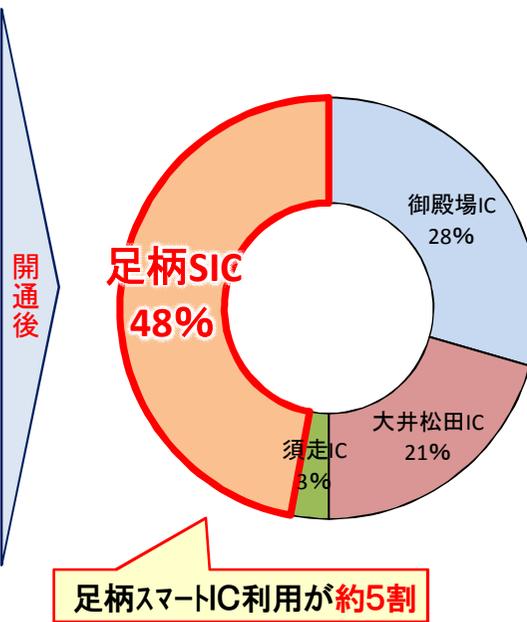
- 指標①：開通前は、小山町内企業の約9割が御殿場IC・大井松田ICを利用
足柄スマートIC開通後は約5割が足柄スマートICを利用し、物流の効率化に貢献
- 指標③：移動時間の短縮により、事業活動の効率化や労働時間の改善を実感

<指標①結果：周辺企業の高速度道路の利用実態と足柄SIC開通後の利用意識>

◆現在の高速道路利用動向



◆足柄スマートIC開通後の利用IC



開通後

足柄スマートIC利用が約5割

<指標③結果：企業の期待の声>

製造・加工・運送業者等の声

—各企業のコメント—

● A社

小山町内にある工場から出張する際に足柄スマートICを利用することで所要時間が約15分短縮しました。これにより、事業活動の効率化に繋がり、さらに、移動の際の安全面が向上しました。また、社内でコミュニケーションをとる時間を確保できるようになりました。
(ヒアリング実施日：2019.8.5)



● B社

東京方面、名古屋方面への配送の際、開通前は御殿場IC、大井松田ICを利用していましたが、現在は足柄スマートICを利用しています。高速道路までのアクセス時間が短くなり、労働時間の改善に繋がっています。
(ヒアリング実施日：2019.4.22)



※開通前：小山町内企業アンケート(2019.1.8) 製造・加工・運送業等の26社を対象に実施
開通後：小山町内企業アンケート(2020.3.31) 製造・加工・運送業等の24社を対象に実施

3.記者発表及び整備効果の検証

効果⑤：救急搬送の速達性

指標①：足柄スマートICを利用し、第三次医療施設までの**救急搬送時間が5分短縮し、12回の搬送を実施**
 アクセス時間の短縮により、多量出血による死亡リスクが低減
 搬送時間短縮により、患者の負担軽減や搬送時間のずれの解消に繋がる

<指標①結果：救急医療施設への搬送時間>

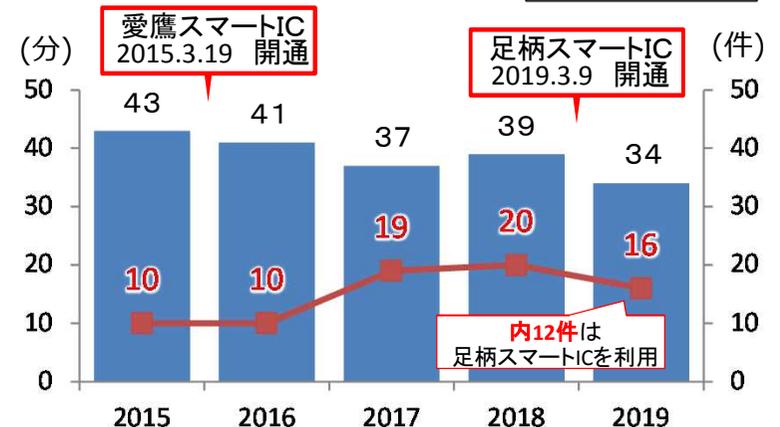
<指標①結果：搬送時間短縮効果（開通効果に関する声）>

沼津市立病院

<足柄スマートIC付近から沼津市立病院までの搬送時間の変化>

<沼津市立病院までの平均搬送時間>
 スマートIC整備により**救命率向上**

■ 平均搬送時間
 ■ 件数



出典：小山消防署データ（小山町の小山・足柄・北郷・須走4地区）
 ※2019年については2019.3.9～2019.12.31の足柄スマートIC利用時の平均搬送時間、搬送件数

小山消防署

—消防署コメント(2019.7.25)—

小山・足柄・北郷地区の重篤患者の方を緊急搬送する場合、沼津方面の第三次医療施設である沼津市立病院等に搬送しています。足柄スマートIC開通前は、この地区からの緊急搬送に東名高速の御殿場ICを利用しており、インターまでに時間を要してしまうことや、病院へ伝える搬送時間に狂いが生じていました。

足柄スマートICを利用することで高速までのアクセス時間が**最大約5分短縮**され、**患者さんへの負担軽減に繋がっています。**

また、搬送時間が読めるようになり、病院へ伝える搬送時間のずれが少なくなりました。

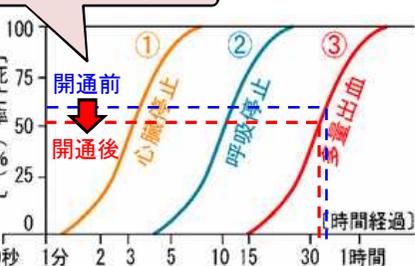


出典：小山消防署データ（小山町の小山・足柄・北郷3地区）
 開通前：2018.4.1～2019.3.8の平均搬送時間
 開通後：2019年については2019.3.9～2019.12.31の平均搬送時間

<カーラーの救命曲線>

カーラーの救命曲線では**多量出血後約30分で死亡率50%以上**となる

死亡リスク低減



- ①心臓停止後約3分で50%死亡
- ②呼吸停止後約10分で50%死亡
- ③多量出血後約30分で50%死亡

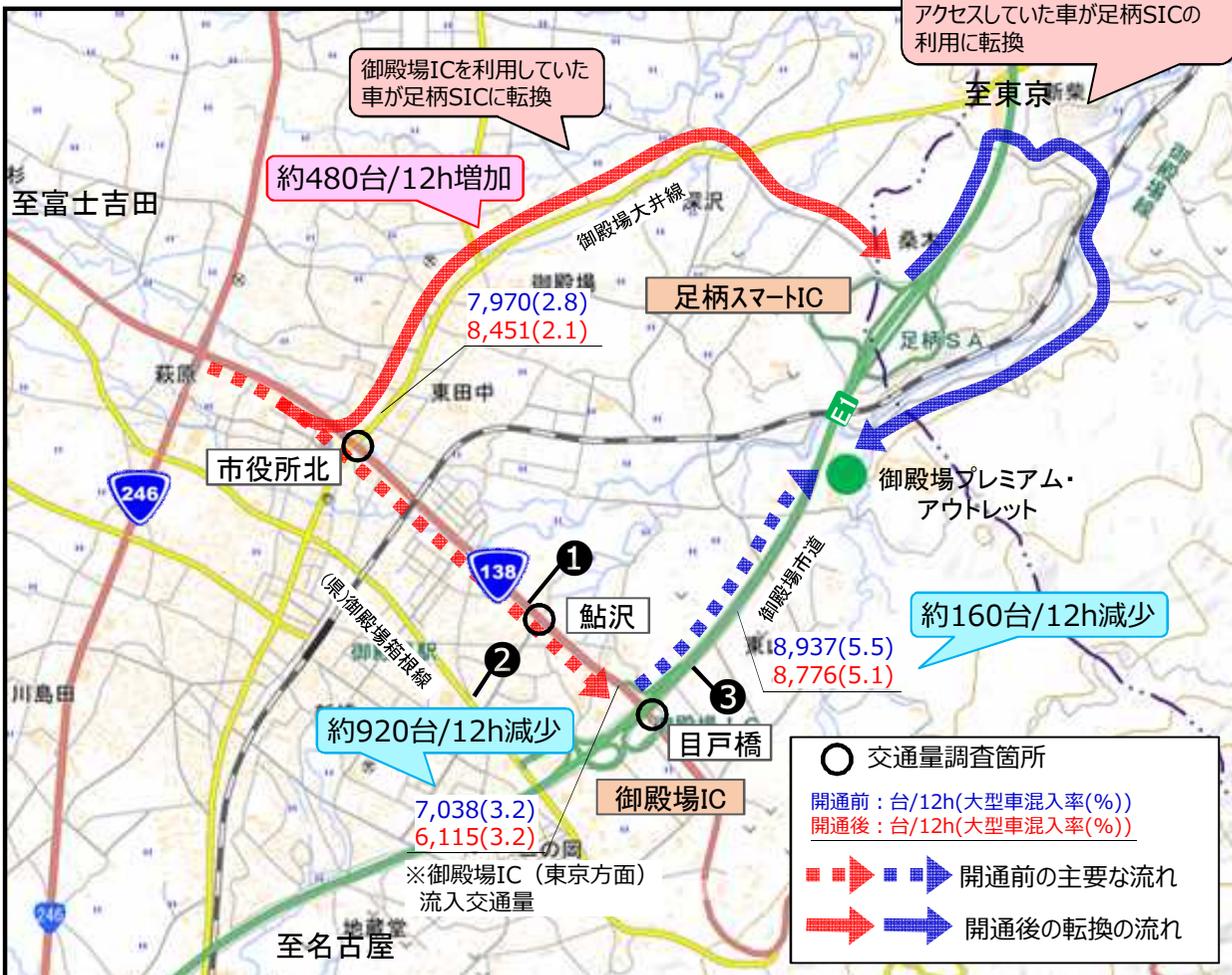
4.データ検証結果

効果①：御殿場IC周辺の交通状況

指標①：富士吉田方面から国道138号経由で御殿場ICへ流入していた交通(●●▶)が減少し、御殿場大井線に転換。(▶)また、御殿場ICから御殿場アウトレットを利用していた交通(●●▶)が足柄スマートICに転換(▶)したため、御殿場市道の交通量が減少。交通量減少に伴い、各路線の旅行速度も向上

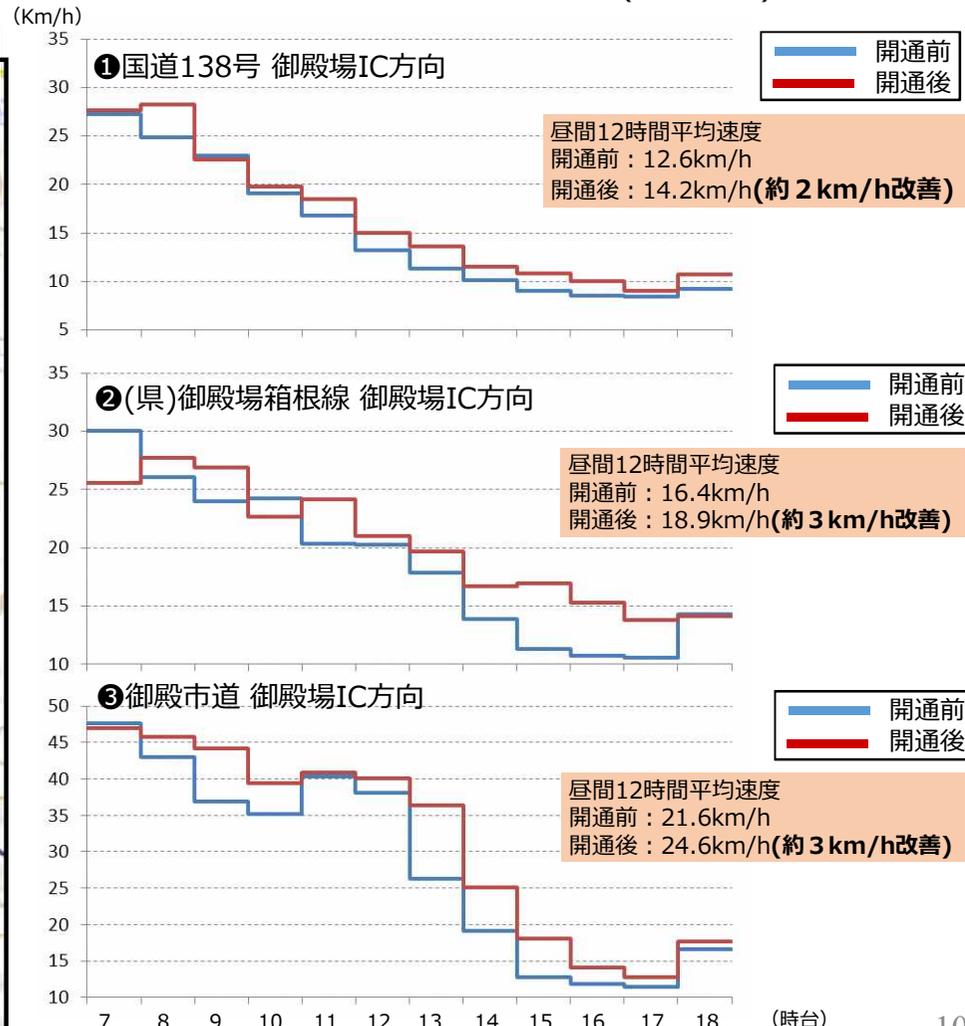
<指標①：御殿場市街及び御殿場IC付近の混雑状況>

◆足柄スマートIC開通前後の混雑状況



データ：12時間交通量は開通前：2018.11.18 (日)、開通後：2019.11.17 (日) 交通量調査結果

◆御殿場IC周辺道路の開通前後の旅行速度(休日平均)



平均速度はETC2.0プローブデータより算出 開通前：2018.11休日平均 開通後：2019.11休日

4. データ検証結果

効果④：防災機能の強化

指標②：足柄スマートIC開通により、小山町内防災拠点までの所要時間が約3分短縮

<指標②：災害進出拠点からの輸送効率の向上による防災機能の強化>

<防災活動拠点となる広域避難地への移動時間の短縮>



開通前（御殿場IC）
所要時間：約15分
走行距離：約9km

広域避難地
生涯学習センター

御殿場ICを経由せず
支援が可能
↓
アクセス時間
3分短縮

開通後（足柄スマートIC）
所要時間：約12分
走行距離：約8km



<走行経路>

- 御殿場ICルート
御殿場IC⇒御殿場市道⇒国道138号⇒国道246号⇒広域避難地
- 足柄スマートICルート
御殿場IC⇒東名高速道路⇒足柄スマートIC⇒御殿場市道⇒小山町道⇒県道富士公園線⇒広域避難地

所要時間はETC2.0プローブデータより算出
2019.11 平日昼間12時間平均